

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年11月13日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,707	90.0	1,450	190.3	1,388	170.0	874	139.5
27年3月期第2四半期	5,109	△8.9	499	△2.8	514	△6.9	365	△2.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 867百万円(138.6%) 27年3月期第2四半期 363百万円(△8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	38.88	—
27年3月期第2四半期	16.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	34,922	14,999	43.0
27年3月期	32,667	14,312	43.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 14,999百万円 27年3月期 14,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.0	0.0
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.0	17.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年6月30日に開示いたしました、「剰余金の配当に関するお知らせ」のとおり、平成27年7月21日を基準日とする剰余金の配当(1株当たり8円)については平成27年8月27日に行いました。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,700	△2.6	1,850	1.9	1,840	17.7	1,100	162.7	48.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、前連結会計年度まで非連結子会社であった株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローは、重要性が増したことから、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期2Q	22,500,000株	27年3月期	22,500,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	4,371株	27年3月期	4,321株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	22,495,641株	27年3月期2Q	22,495,779株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日)におけるわが国経済は、政府による成長戦略や日銀による金融緩和のもとで、景気は一部に弱さもみられるものの、緩やかな回復基調が続いております。しかし、米国の金融政策が正常化に向かうなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクが強く懸念される状況にあります。

当社グループのコア事業の販売マーケットとなる遊技場業界は、遊技参加人口の長期減少傾向が下げ止まり状況となったものの、取り巻く経営環境は依然として厳しいものでありました。

このような事業環境のなか、当社グループは、開発・製造・販売・アフターサービスの一貫体制をもって付加価値向上に努めると共に、機器事業における周辺設備機器においては、メンテナンスフリーを実現する『樹脂研磨式メダル自動補給システム』、及びセキュリティ管理と複数単価の営業をスマートに実践する『多機能ICカード玉・メダル貸機』の拡販に注力いたしました。また、遊技機は、回胴式遊技機『パチスロストライクウィッチーズ』を第2四半期にリリースいたしました。これらにより機器事業全体の収益は前年同期を上回ることとなりました。

不動産事業は、安定的に収益を確保いたしました。

福祉介護事業は、連結子会社/株式会社アルプスの杜が有料老人ホーム等4施設を運営しております。

電気事業は、連結子会社/神奈川電力株式会社が運営する太陽光発電所2箇所(発電能力合計4メガワット)が運転稼働しております。また、栃木県内に建設中の発電能力20メガワットの太陽光発電所は第3四半期に運転稼働開始予定であります。

コンテンツ事業においては、連結子会社/株式会社インターグロー、及び株式会社レッド・エンタテインメントの2社がパッケージゲーム、オンラインアミューズメント、ゲームソフト・アニメキャラクターの企画制作等の事業を行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高9,707百万円(前年同期比90.0%増)、経常利益1,388百万円(前年同期比170.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益874百万円(前年同期比139.5%増)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高8,395百万円(前年同期比74.0%増)、セグメント利益1,608百万円(前年同期比186.8%増)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高300百万円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益161百万円(前年同期比18.6%減)となりました。

(福祉介護事業)

福祉介護事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高382百万円、セグメント損失47百万円となりました。

なお、福祉介護事業は、前第3四半期連結会計期間より報告セグメントとしております。

(電気事業)

電気事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高105百万円、セグメント利益25百万円となりました。

なお、電気事業は、前連結会計年度末より報告セグメントとしております。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高634百万円、セグメント利益29百万円となりました。

なお、コンテンツ事業は、連結範囲の変更に伴い第1四半期連結会計期間より報告セグメントとしております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(平成27年3月31日)に比べ2,254百万円増加し、34,922百万円となりました。

なお、前連結会計年度において非連結子会社でありました株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローを重要性が増したため連結の範囲に含めております。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,870百万円増加し、18,684百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加(2,192百万円増)、仕掛品の増加(955百万円増)の一方で、受取手形及び売掛金の減少(125百万円減)、原材料の減少(165百万円減)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ615百万円減少し、16,237百万円となりました。これは主に賃貸用不動産の売却等に伴う建物の減少(190百万円減)及び土地の減少(311百万円減)、連結範囲の変更に伴う投資有価証券の減少等(207百万円減)の一方で、連結範囲の変更に伴うのれんの増加(89百万円増)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,567百万円増加し、19,922百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(1,049百万円増)、1年内返済予定の長期借入金の増加(236百万円増)、未払法人税等の増加(183百万円増)、流動負債その他に含まれる未払金の増加(267百万円増)及び株式会社レッド・エンタテインメントを連結の範囲に含めたことに伴う前受金の増加等(222百万円増)、長期借入金の増加(468百万円増)、固定負債その他に含まれる長期預り保証金の増加(125百万円)の一方で、短期借入金の減少(1,123百万円減)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ687百万円増加し、14,999百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(694百万円増)によるものです。

この結果、自己資本比率は43.0%と前連結会計年度末に比べ0.8ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年6月30日付決算短信の発表数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,382,467	8,574,883
受取手形及び売掛金	5,073,988	4,948,738
商品及び製品	993,871	937,385
仕掛品	573,915	1,529,375
原材料	1,320,419	1,155,407
コンテンツ	—	42,919
繰延税金資産	203,953	134,792
その他	1,278,250	1,364,539
貸倒引当金	△13,059	△3,565
流動資産合計	15,813,808	18,684,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,700,608	3,510,157
土地	7,742,506	7,430,964
その他(純額)	3,232,513	3,157,102
有形固定資産合計	14,675,628	14,098,224
無形固定資産		
ソフトウェア	32,545	68,131
のれん	266,385	356,265
その他	12,695	18,576
無形固定資産合計	311,626	442,972
投資その他の資産		
投資有価証券	794,982	587,565
長期貸付金	509,166	544,166
繰延税金資産	1,723	3,152
その他	823,425	843,941
貸倒引当金	△262,900	△282,279
投資その他の資産合計	1,866,398	1,696,546
固定資産合計	16,853,652	16,237,743
資産合計	32,667,461	34,922,219
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,659,939	4,709,225
短期借入金	2,296,000	1,172,450
1年内返済予定の長期借入金	1,499,071	1,735,527
未払法人税等	326,355	510,108
賞与引当金	57,508	54,643
製品保証引当金	18,000	18,000
返品調整引当金	—	2,387
受注損失引当金	—	491
その他	554,538	1,148,086
流動負債合計	8,411,413	9,350,919

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
固定負債		
長期借入金	8,105,510	8,573,783
繰延税金負債	38,420	35,192
役員退職慰労引当金	467,547	497,967
退職給付に係る負債	48,813	51,666
資産除去債務	63,543	69,117
その他	1,220,106	1,344,066
固定負債合計	9,943,941	10,571,792
負債合計	18,355,355	19,922,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	12,567,295	13,262,264
自己株式	△4,091	△4,137
株主資本合計	14,243,804	14,938,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,302	60,780
その他の包括利益累計額合計	68,302	60,780
純資産合計	14,312,106	14,999,508
負債純資産合計	32,667,461	34,922,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,109,762	9,707,682
売上原価	3,935,891	6,863,540
返品調整引当金繰入額	—	2,387
売上総利益	1,173,870	2,841,754
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,304	351,045
役員報酬	95,562	118,372
給料手当及び賞与	93,130	141,159
賞与引当金繰入額	23,596	23,250
退職給付費用	14,439	12,679
役員退職慰労引当金繰入額	4,643	30,419
その他	440,453	713,989
販売費及び一般管理費合計	674,130	1,390,914
営業利益	499,740	1,450,840
営業外収益		
受取利息	1,697	1,824
受取配当金	10,441	5,420
その他	22,756	25,224
営業外収益合計	34,895	32,469
営業外費用		
支払利息	18,075	52,326
貸倒引当金繰入額	—	20,000
その他	2,149	22,179
営業外費用合計	20,224	94,505
経常利益	514,411	1,388,803
特別利益		
固定資産売却益	—	85,453
投資有価証券売却益	32,676	—
特別利益合計	32,676	85,453
特別損失		
固定資産除売却損	—	15,488
特別損失合計	—	15,488
税金等調整前四半期純利益	547,088	1,458,768
法人税、住民税及び事業税	146,495	516,969
法人税等調整額	35,379	67,211
法人税等合計	181,874	584,181
四半期純利益	365,213	874,587
親会社株主に帰属する四半期純利益	365,213	874,587

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	365,213	874,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,791	△7,521
その他の包括利益合計	△1,791	△7,521
四半期包括利益	363,422	867,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363,422	867,066

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	547,088	1,458,768
減価償却費	95,959	257,615
のれん償却額	-	28,163
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,428	8,517
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,000	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,365	△2,865
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,024	2,852
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,643	30,419
返品調整引当金の増減額(△は減少)	-	2,387
受取利息及び受取配当金	△12,138	△7,244
支払利息	18,075	52,326
投資有価証券売却損益(△は益)	△32,676	-
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△85,453
売上債権の増減額(△は増加)	695,118	219,602
たな卸資産の増減額(△は増加)	△117,282	△672,708
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,201,790	973,840
前渡金の増減額(△は増加)	-	△25,405
その他	△136,618	451,946
小計	△1,148,659	2,692,765
利息及び配当金の受取額	12,138	7,244
利息の支払額	△18,888	△51,544
法人税等の支払額	△474,901	△336,492
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,630,309	2,311,972
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	360,882	-
有形固定資産の取得による支出	△1,602,704	△95,455
有形固定資産の売却による収入	-	522,116
無形固定資産の取得による支出	-	△5,683
貸付けによる支出	△65,000	△70,000
貸付金の回収による収入	22,999	27,999
その他	△8,903	△18,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,292,725	360,401
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	777,600	△1,296,000
長期借入れによる収入	1,750,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△725,136	△1,102,726
自己株式の取得による支出	-	△45
配当金の支払額	△156,791	△178,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,645,672	△777,103
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,277,363	1,895,270
現金及び現金同等物の期首残高	5,610,219	6,382,467
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	297,145
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,332,855	8,574,883

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,826,401	283,361	5,109,762	—	5,109,762
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,700	14,700	△14,700	—
計	4,826,401	298,061	5,124,462	△14,700	5,109,762
セグメント利益	560,807	197,930	758,738	△258,997	499,740

(注) 1 セグメント利益の調整額△258,997千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	福祉介護事業	電気事業	コンテンツ事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	8,383,275	285,499	382,745	105,153	551,008	9,707,682	—	9,707,682
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	12,340	14,700	—	—	83,333	110,373	△110,373	—
計	8,395,615	300,199	382,745	105,153	634,341	9,818,056	△110,373	9,707,682
セグメント利益又は損失(△)	1,608,416	161,020	△47,958	25,486	29,148	1,776,113	△325,272	1,450,840

(注) 1 セグメント利益の調整額△325,272千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度において非連結子会社でありました、株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローを重要性が増したため連結子会社としたことに伴い、同2社が運営する「コンテンツ事業」を新たに報告セグメントといたしました。